

神奈川県における縄文時代文化の変遷Ⅷ

－後期初頭期 称名寺式土器文化期の様相 その1－

－主要遺跡の集成・一括出土事例－

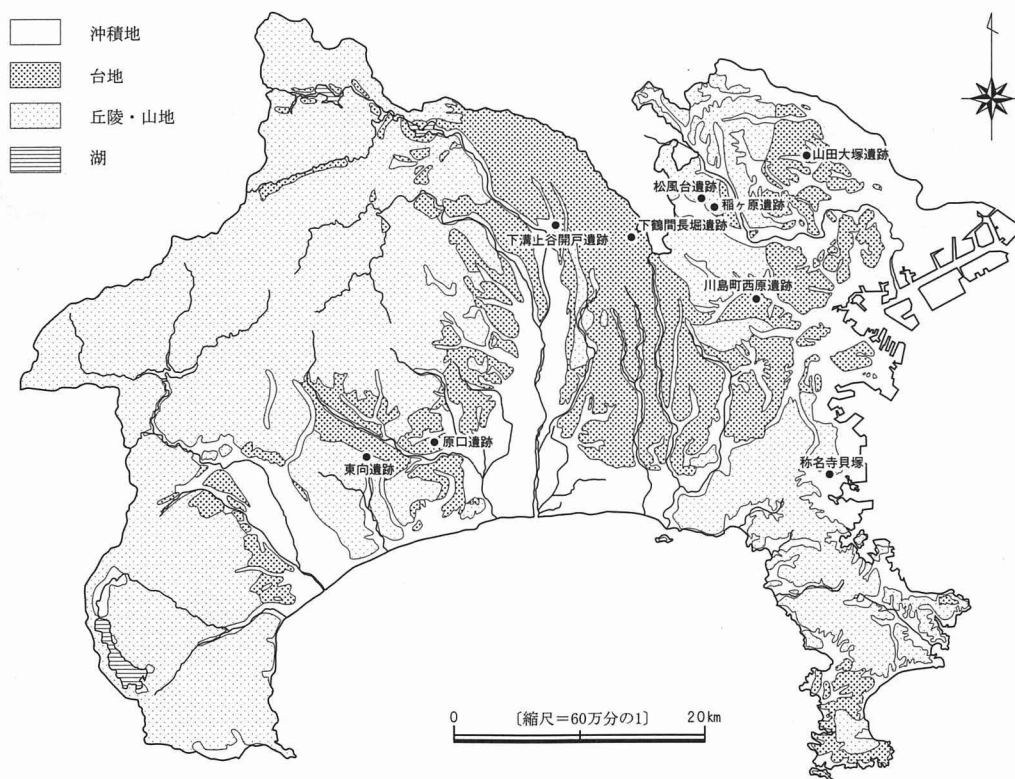
縄文時代研究プロジェクトチーム

I. はじめに

今年度から後期初頭期・称名寺式土器文化期の様相をめぐる研究を開始した。該期を特徴づける称名寺式土器は言うまでもなく、横浜市金沢区称名寺貝塚の出土土器を基準にして1960年に設定された土器型式である（吉田格1960『横浜市称名寺貝塚』）。当初は発見例が少ないため存在を疑問視されたりもしたが、現在では関東一円に広く存在する後期初頭の土器という位置付けが定着し、数段階の変遷も認識されるに至っている。（研究史は横浜市埋蔵文化財センター1990『調査研究集録7』等に詳しく書かれている。）

今年度は該期研究の第一年目にあたる。次年度以降に予定している土器編年作業・文化要素研究の前提作業として、県内の基礎的資料の収集、データーシート・データーベースの作成を行った。その集成成果の全てを本稿に掲載することは紙面の関係上不可能であるため、称名寺式土器出土主要遺跡地名表及び参考文献を掲載すると共に、一括出土事例中で良好と思われるものを図示し、紹介することにした。（松田光太郎）

II. 一括出土事例



第1図 一括出土事例掲載遺跡

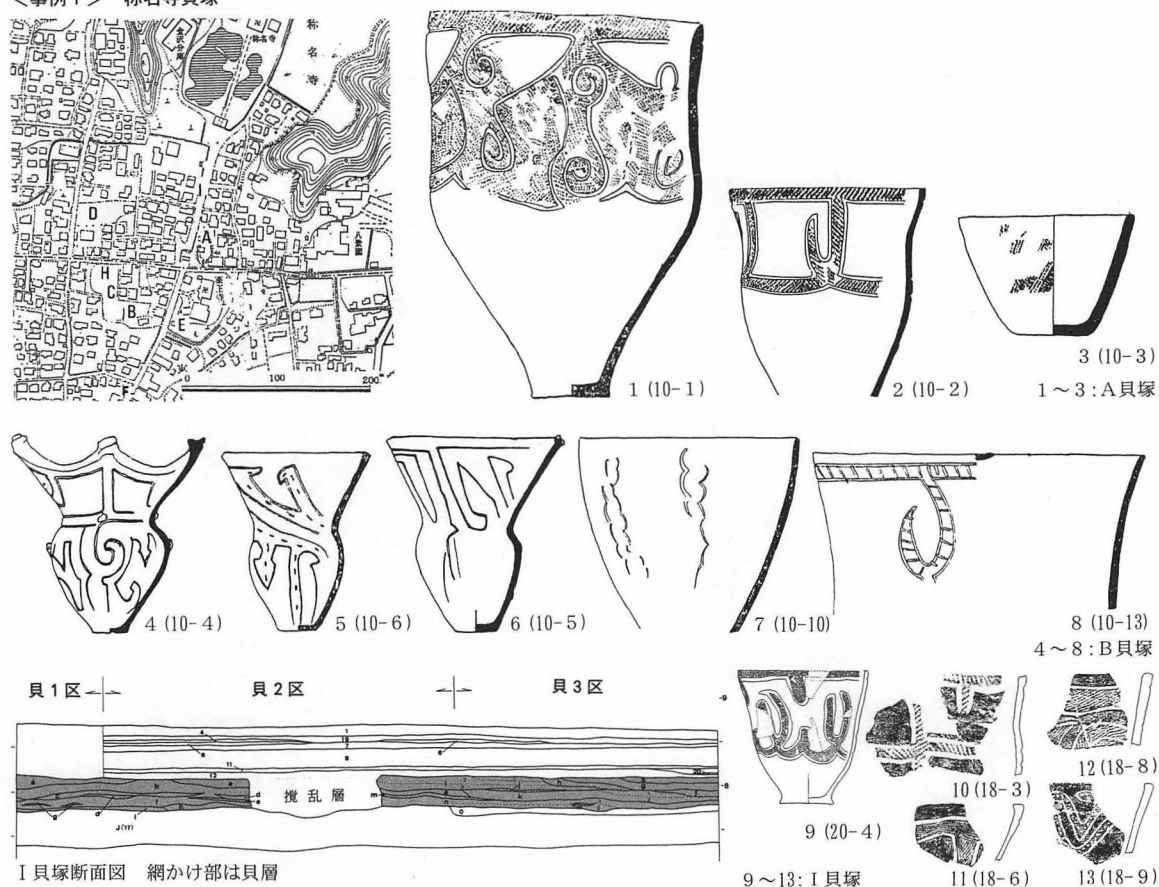
〈事例1〉 称名寺貝塚（第2図1～13）

横浜市金沢区称名寺境内一帯に所在する小貝塚群。標高約5mの砂丘上にあり、現在A～I貝塚の9ヶ所の貝塚の存在が確認されている。A貝塚は称名寺山門内に所在し、1932年に赤星直忠氏、1951年に日本考古学協会縄文部会（吉田格氏）が調査した地点、B貝塚はA貝塚の南西70～80m付近に所在し、1951年に前出の縄文部会、1957年に武蔵野文化協会（吉田氏）が調査した地点、C貝塚はB貝塚の北西30m付近に所在し、1957年に武蔵野文化協会（吉田氏）が調査した地点である。D貝塚は1963年に横浜市立大学（和島誠一氏）、1966年に武蔵野文化協会が調査した地点、E貝塚は薬王寺内に所在し1947年に赤星氏が調査した地点、H貝塚は1977年、I貝塚（称名寺参道）は1983年にそれぞれ横浜市埋蔵文化財調査委員会が調査した地点である。F貝塚は1956年に横浜市史編纂室が調査した中世の貝塚、G貝塚は1957年に調査された近世の貝塚である。

第2図1～8は1951・1957年の吉田氏発掘資料で、称名寺式土器の型式提唱の基準になった資料である。第2図1～3はA貝塚資料。報告書で称名寺式土器第一群土器、加曽利E式直後とされた土器である。1・2とも太い沈線でJ字状文を描き、沈線間に縄文を施文している。同図4～8はB貝塚資料で、称名寺式土器第二群土器、堀之内式へ続くとされた土器である。4～6は縄文をもたず沈線でJ字状文等を描いたもので、5は列点をもっている。本地点は堀之内1式土器も出土している。同図9～13はI貝塚資料。貝1・2区は貝層上部（a・b層）で9・10を含む太沈線の土器が出土し、下部（c-i層）で加曽利E式第IV段階が出土した。貝3・4区は貝層上で列点をもつ土器（13）が出土。貝層上部（a-m層）では11・12のような土器が主体をなし、下部（n・o層）は太沈線の土器と加曽利E式第IV段階が主体をなすようである。

〈事例1〉 称名寺貝塚

（松田光太郎）



第2図 一括出土事例（1）

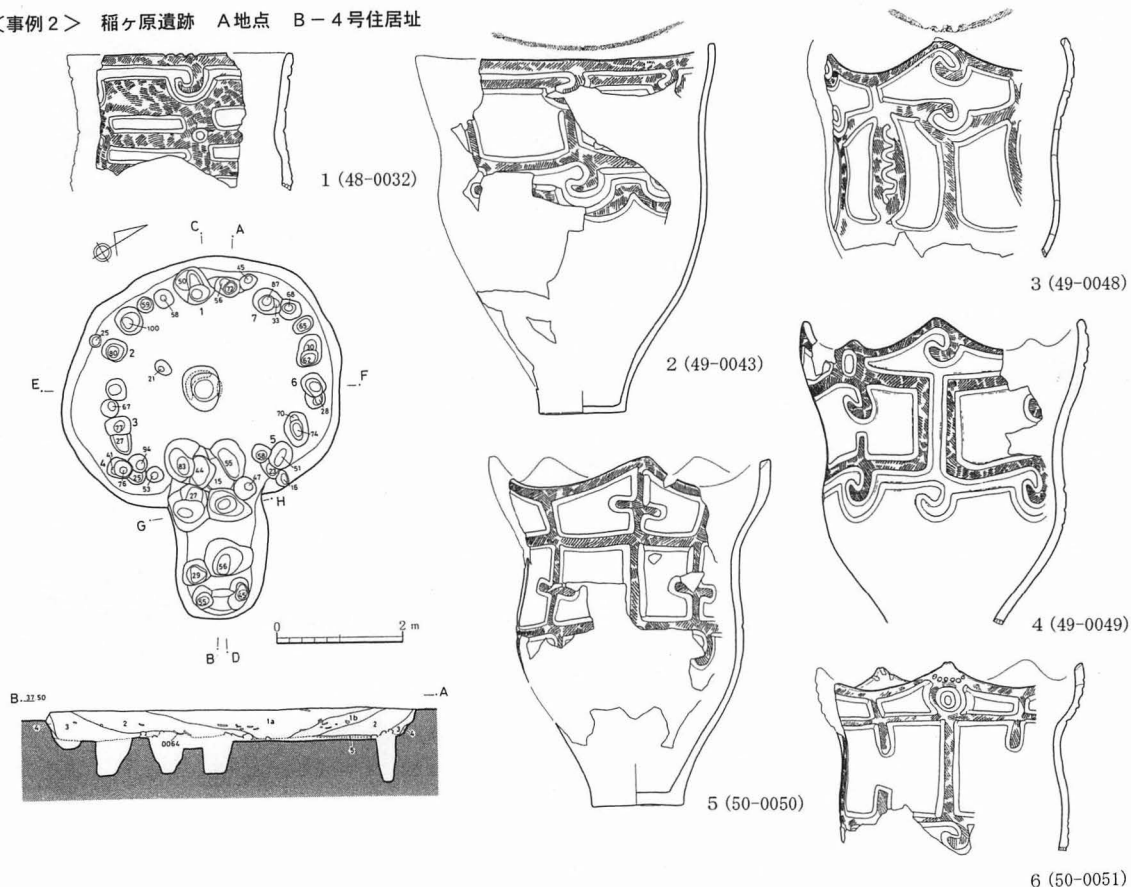
〈事例2〉 稲ヶ原遺跡 A地点 B-4号住居址 (第3図)

稲ヶ原遺跡は横浜市緑区（現在青葉区）さつきが丘8の3番地外に所在する。この付近は、多摩丘陵の一部に含まれ、鶴見川の支流である恩田川・谷本川・早渕川により開析された丘陵地形を形成している。本遺跡は、恩田川・谷本川に挟まれ、小支谷により開析された、一段低位の台地の西辺部に位置している。小学校建設に伴う発掘調査で、縄文時代の竪穴住居址・土坑・炉穴・集石・配石遺構・ピットなどが検出されており、縄文時代中期末～後期初頭の遺構としては、竪穴住居址・土坑・集石遺構がある。

B-4号住居址は、調査区の南側に位置している。ローム層を掘り込んだ柄鏡形のプランを呈しており、床面には大型の礫が敷かれた敷石住居址である。本住居址の時期は、加曽利E式第Ⅳ段階であるが覆土の最上層から称名寺式の最も古い時期と見られる土器が多量に出土している。住居址出土土器として図示した6点は、すべて覆土最上層からの出土土器である。1は深鉢で口唇部に刻みが施される。沈線により長方形・円形区画を形成する。地文にはLRの縄文が施文されている。2は口唇部に縄文を施した深鉢である。平行する沈線によりJ字状の文様や懸垂文等を描き、沈線間の帯状部にLRの縄文を充填している。3は5単位の波状口縁を有する深鉢である。口唇部には縄文が施され、波状口縁の波頭部には刻みを有する。沈線によりJ字状の文様や懸垂文・紡錘文等が施され、LRの縄文を充填している。4は大小4対の波状口縁を有する深鉢である。沈線によりJ字状の文様や懸垂文等が描かれ、RLの縄文を充填している。5は5単位の波状口縁を有する深鉢である。沈線区画を巡らし、J字状の文様等を施文し、LRの縄文が充填される。6は5単位の波状口縁の深鉢で、波頭部に刻みや刺突文が施される。沈線によりJ字状の文様や懸垂文等が描かれ、LRの縄文を充填している。

(岡 稔)

〈事例2〉 稲ヶ原遺跡 A地点 B-4号住居址



第3図 一括出土事例(2)

〈事例3〉 下鶴間長堀遺跡 第2地点 第1号住居址（第4図1～5）

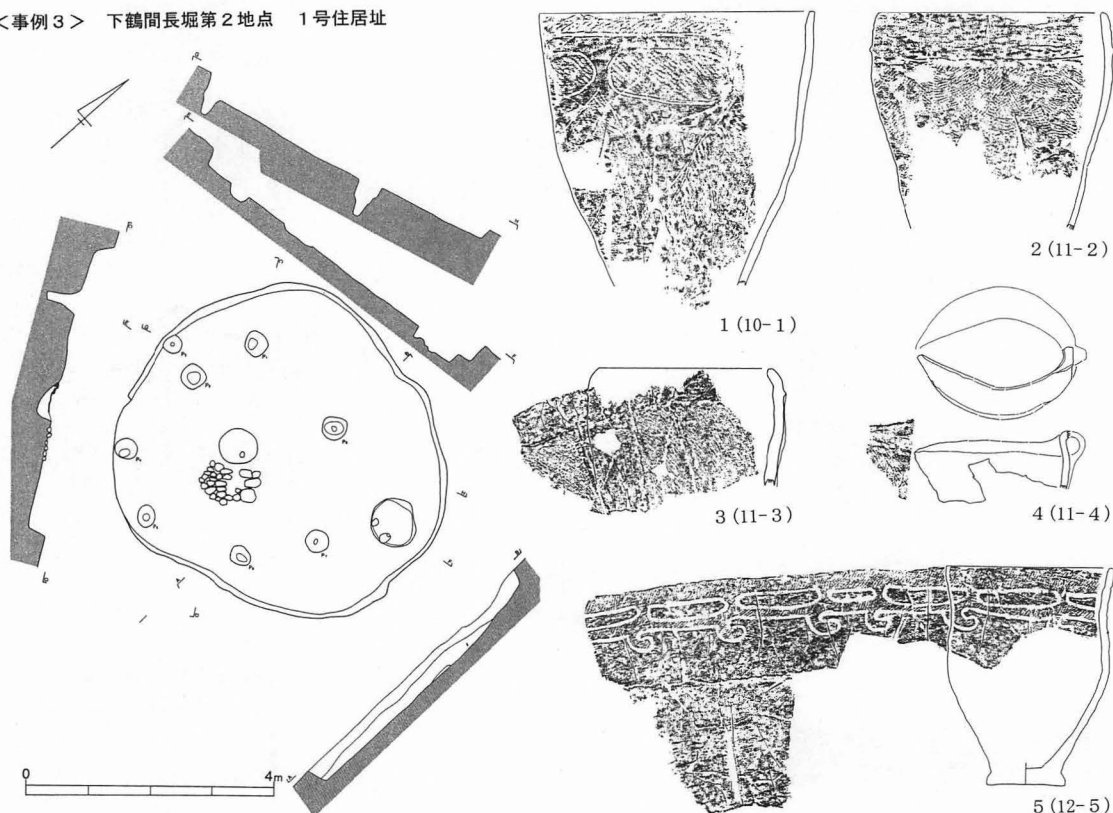
下鶴間長堀遺跡は相模野台地の東側に位置し、台地東縁を流れる境川に向けて開口する長堀と呼称される奥行き2.5kmほどの支谷に接する痩せ尾根上に立地している。調査面積はごく小さく、竪穴住居址1軒、土坑1基が検出されたにとどまっている。

第1号住居址は富士黒土層下部で検出された不整楕円形の住居址である。8本の柱穴が円形にめぐり、出土遺物がこの範囲に集中することから、壁際に柱穴をめぐらす柄鏡形住居であったと想定されている。床面上には礫が配されているが、配石炉なのか、敷石の一部であるのか判然とはしない。

住居址出土土器としては図示した5点が報告されている。1は深鉢で、口縁直下に沈線をめぐらせ区画し、また沈線で楕円形区画を描いて、ともに区画内に縄文を施している。胴下半には、楕円形区画文の接点になる位置を頂点にあてる山形に沈線を描きその頂部にのみ縄文を施す。報告者は牛蛭式の要素を持つ加曽利E系の土器としている。2と3は口縁部に無文帯と断面三角の微隆起線を有する加曽利E系の深鉢である。3は口縁部の微隆起線から、胴部にむけて同様の微隆起線を垂下させ、一部微隆起線間を磨り消して無文化しているが、無文部の配置は規則的ではなく、微隆起線間が必ずしも磨り消されるわけではない。4は2・3同様の加曽利E系の鉢で、把手を有し、その対になる部分が注ぎ口状になる。口縁を内側に屈曲させ、無文帯を形成している。5は口縁部に楕円形の枠状区画を配し、さらにJ字のモチーフを垂下させ、枠状区画内に縄文を充填した深鉢である。同じく沈線を使用した1の土器が、口縁部の楕円形区画内に縄文を充填するのにに対し、枠状区画に縄文を施している点で異なり、また沈線は深くしっかりしている。報告者は中津式系の称名寺式土器としている。

（小川岳人）

〈事例3〉 下鶴間長堀第2地点 1号住居址



第4図 一括出土事例（3）

〈事例4〉 松風台遺跡 JT-3 (第5図)

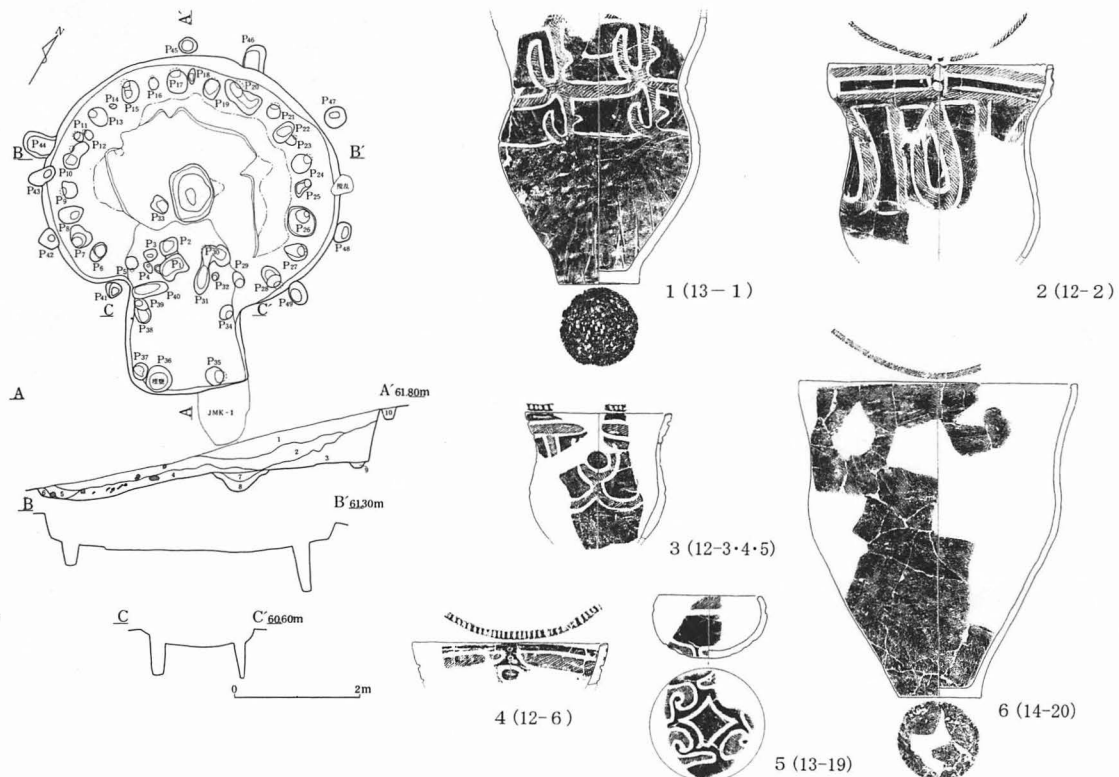
松風台遺跡は横浜市緑区(現在青葉区)松風台23-1番地外に所在する。遺跡の南約1kmを鶴見川の支流である恩田川が東流し、南西約0.7kmでは恩田川と、恩田川の支流である奈良川が合流している。恩田・奈良の両河川の合流点付近から北東へ入り込む谷と、東急田園都市線青葉台駅付近から北西に延びる谷によって挟まれるように北東～南西方向に延びる丘陵頂部から南東向き斜面にかけて遺跡は立地している。宅地造成に伴う発掘調査で、縄文時代の堅穴住居址・土坑・集石・屋外埋甕などが検出されている。該期の遺構としては、堅穴住居址1軒がある。

JT-3は遺跡中央部に位置するC区西側の南東向き斜面で見つかった。プランは4.8×3.8mの楕円形に近い主体部に幅1.75m、長さ1.6mの張出し部が接続する柄鏡形である。壁際と張出し部には石が置かれる、いわゆる柄鏡形の敷石住居である。張出し部の先端には埋甕が設置されていた。

住居址出土土器として6点を図示した。1は口縁部を欠く埋甕の深鉢である。体部上半には突起のあるJ字状の文様を2段施し、上端の区画とJ字状の文様の間には縄文帯、下位には沈線が施される。下位の沈線はJ字の部分で開放している。2は口唇部に縄文が施された深鉢である。口縁部文様帯は長方形の区画文で、区画文間には縦位に2箇所を押圧が加えられる。胴部には紡錘文と懸垂文が交互に繰り返される。3は口唇部に刻みが施される深鉢である。胴部には懸垂文が施され玉抱文が見られる。4は口唇部に刻みを施し口縁部の区画文間に竹管による刺突が施される。5は小形の鉢で沈線によりJ字状の文様が施される。6は粗製の深鉢で口唇部には縄文が施される。口縁部には縄文帯を巡らし、ここから縦に縄文を約5cm間隔で施文している。

(岡 稔)

〈事例4〉 松風台遺跡 JT-3



第5図 一括出土事例(4)

〈事例5〉 下溝上谷開戸遺跡 B地区 第3号住居址（第6図1～11）

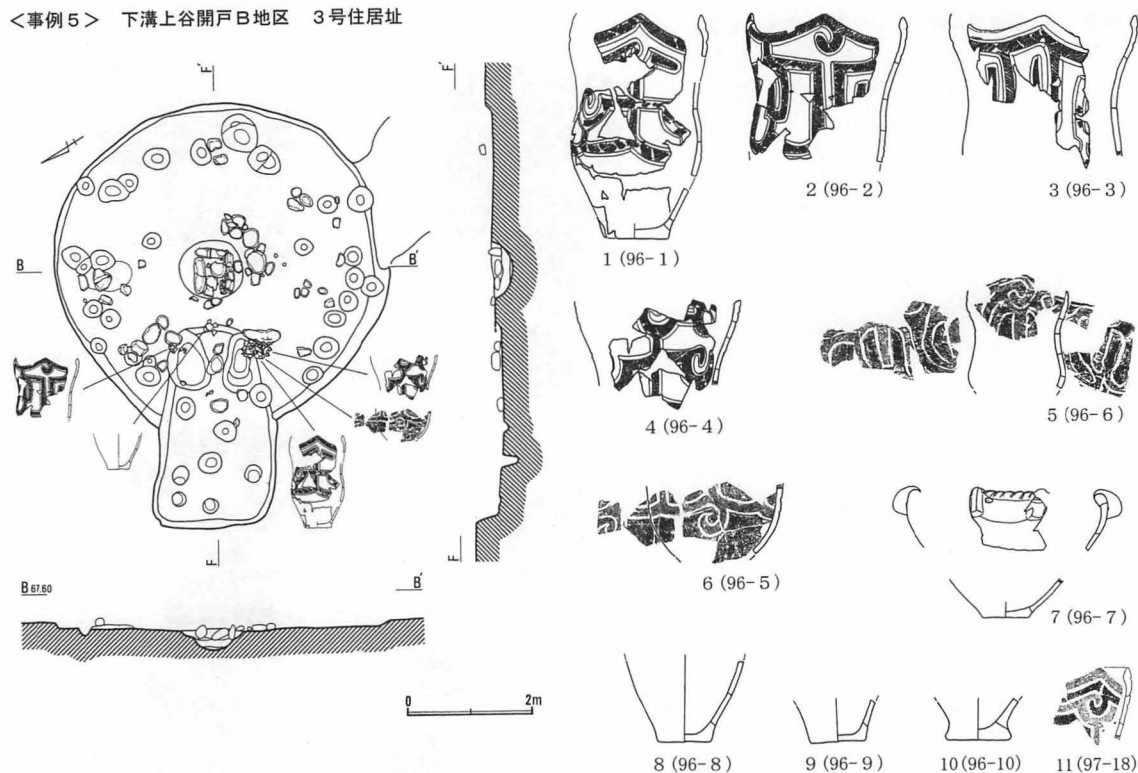
下溝上谷開戸遺跡は相模野台地の西縁、田原面の段丘上に位置する。遺跡の直下では、鳩川が南東側にかけて大きく蛇行して南下し、鳩川に向けて張り出した舌状の地形を形成している。

B地区第3号住居址（以下第3号住居址）は上述した舌状の地形の基部で検出されている。柄鏡形を呈する住居址で、炉は石囲炉となり、床面上には部分的に敷石が施されていた。

出土土器のうち破片を含め73点が報告され、このうち11点を図示した。1～5は波状口縁を呈する深鉢である。沈線による区画内に縄文を充填した帯縄文で、文様モチーフを描く。1は口縁に沿って帯縄文を施すもので、文様はJ字文を上下二段に配し、J字文は無文部で描出する。J字文は上段を波状口縁の波頂部に対応させ、下段は波底部に配する。またJ字文に沿う帯縄文を縦横に連結させている。2は口縁に沿った帯縄文から直接J字文を垂下させる。文様は二段構成をとり、上段は波頂部にJ字文、波底部には下段の文様と縦に繋ぐ帯縄文が施される。下段は、上段に比較して幅広にとられ、波底に対応した角張った縦長のJ字文が配される。3は口縁直下が無文となり、文様の構成は一段となる。口縁に並行する帯縄文から縦長のJ字文が波頂部から波底部に対応して配される。4も波状口縁に沿って帯縄文を施す。文様は二段で構成し、波頂部下に無文部でJ字文を描出する。波底部には口縁部の帯縄文から円形の帯縄文を垂下させる。下段は波頂部に対応して帯縄文を十字に、波底部に対応して上段同様のJ字文を配する。5は文様が不規則で、他のような二段構成をとらない。波頂部にJ字文、波底部に円形文を配する。胴部には縦位に弧状の帯縄文を施す。6は深鉢の胴下半部で、帯縄文を二段に配するものと想定される。7は鉢形土器、8～10は深鉢の底部である。11は1同様の波状口縁深鉢の破片である。

（小川岳人）

〈事例5〉 下溝上谷開戸B地区 3号住居址



第6図 一括出土事例（5）

〈事例6〉 山田大塚遺跡 21号住居址・27号土壙（第7図）

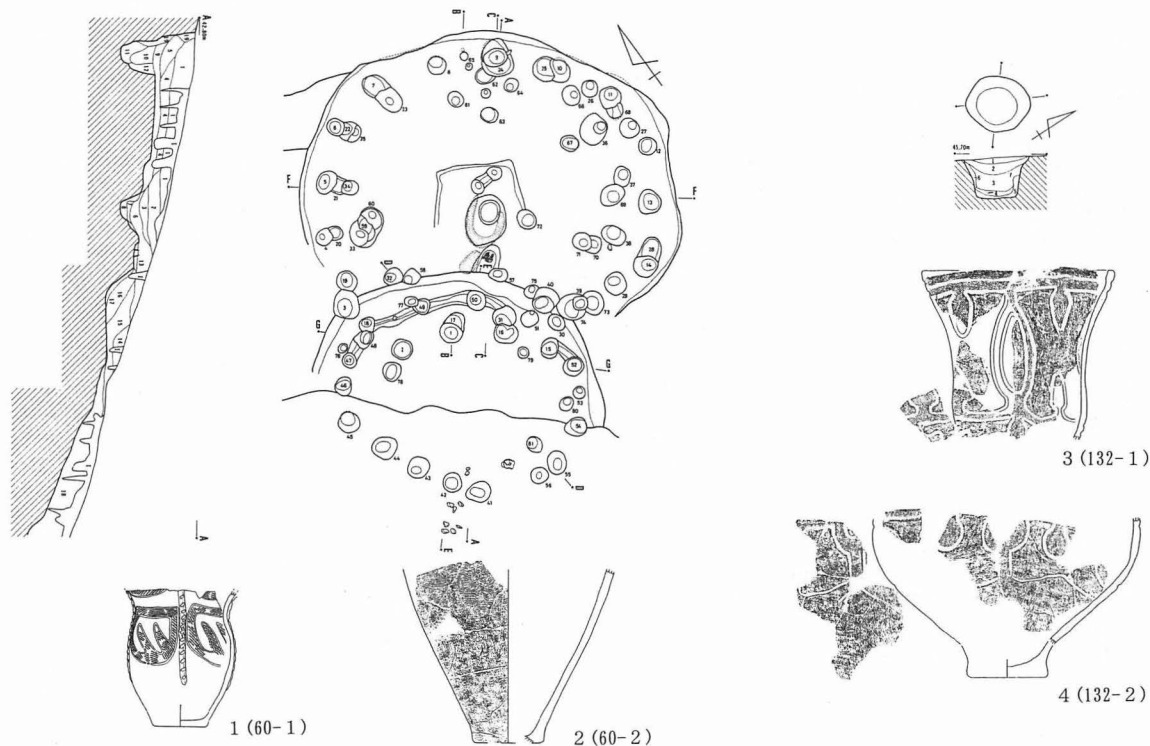
山田大塚遺跡は港北ニュータウン地域内の北端に位置し、下末吉台地西部に相当する台地上にある。遺跡の北に横浜市と川崎市の市境近くを流れる有間川により形成された沖積地を望む。同じ港北ニュータウン地域内に後期前葉を中心とする川和向原遺跡がある。

山田大塚遺跡で発見された縄文時代の遺構は住居址44軒、掘立柱建物8棟、炉穴164基、土壙85基を数え、このうち称名寺式期に帰属する遺構は住居址2軒、土壙15基である。21号住居址および27号土壙から該期の復元土器が複数個体出土している。

21号住居址は隣接する19号住居址（堀之内1式）に切られる。斜面に構築されているため半分ほどが流出しており、炉の発見もなかった。もともと炉がなかった可能性があるという。復元個体のほかに少量の土器片を除いて出土遺物はない。報告書に床面出土の復元図2点が掲載されている（第7図1・2）。1は頸部以下の完存するもので、垂下する縦位の隆帯により区画された中に上下二段の方形基調の区画文が施される。2は細かな単節L R縄文の施された粗製深鉢胴下半部である。

27号土壙は楕円形に近い平面形を呈し、壁に若干の傾きを有す貯蔵穴である。覆土中にかなり多量の土器片が含まれるが、いずれも称名寺式であるという。報告書には復元図2点、破片図8点が掲載されている（第7図3・4）。3は深鉢胴下半を欠損するもので、強く深めに施され裏面に顕著に突出した沈線で、縦位の紡垂文や縦長のスベード文が配される。縄文は無節Rの充填手法をとる。4は胴下半部のみをのこし、二段構成の文様帯の下半部分で、その下端も単一沈線によって連結されている。3と異なり沈線による裏側への突出はみとめられない。（阿部友寿）

〈事例6〉 山田大塚遺跡 21号住居址・27号土壙



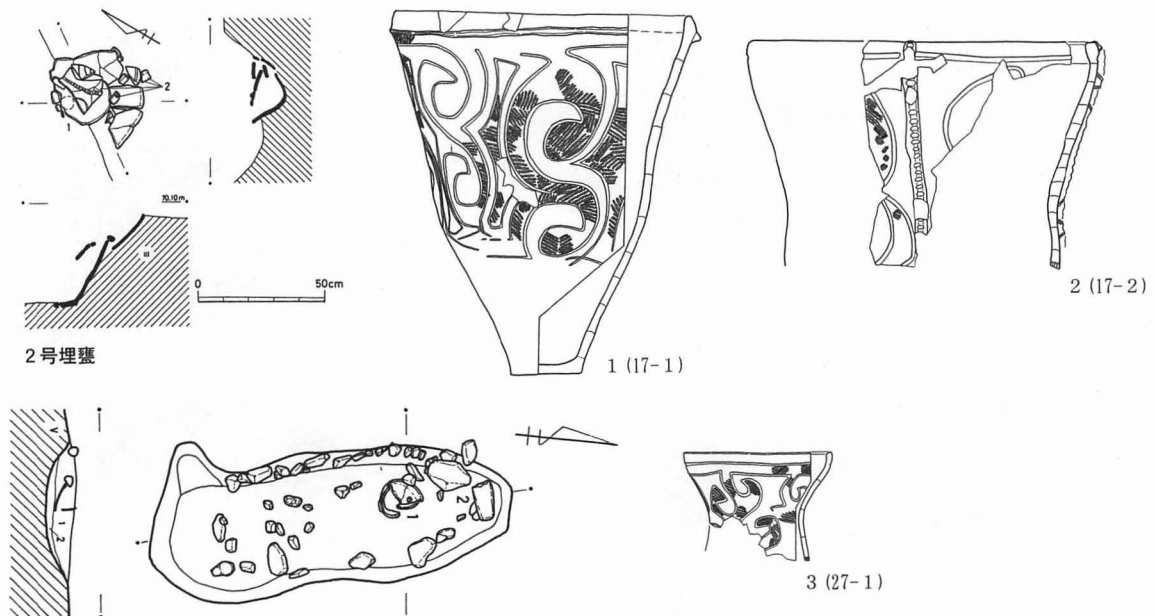
第7図 一括出土事例（6）

〈事例7〉 川島町西原遺跡 2号埋甕・配石遺構（第8図1～3）

川島町西原遺跡は横浜市保土ヶ谷区川島町1,505番地他、帷子川中流域右岸の台地上に所在する。市営住宅建て替えに伴う発掘調査で、縄文時代の土坑・集石・埋甕・焼土址・ピット・配石遺構などが検出されており、該期の遺構としては、土坑・埋甕・配石遺構がある。

2号埋甕は調査区北側で見つかったもので、広がり約42×38cm、高さ35cmの規模をもつ。西半分は土坑が重複し、欠損している。大形の深鉢形土器1個体（1）が正位の状態で埋設されており、その中に深鉢形土器の大きめの破片（2）が口縁部を上にして入っていた。その他明らかに時期の異なる堀之内1式土器の小破片が1点入っていたらしい。埋甕の周りには明確な掘り込みは認められなかった。1・2は2号埋甕出土土器。1は深鉢形土器で、器体の約1/2が残存する。口径39.1cm、器高47.5cm、底径9.2cm。口縁部下に1条の隆帯を水平に巡らし、以下に2条の平行する沈線で上下に連なるJ字状の文様を数個垂下させ、J字状文間にはJ字状文に平行してJ字状文にかみ合うようなS字状の文様を描き出している。そしてS字状文部分は縄文（LR、RL）を施文し、隣のJ字状文部分は無文のまま、というように、2条の線で挟まれた帯状部が互い違いに縄文部と無文部となるよう縄文を充填し、文様のコントラストをつけている。2は口縁下に単沈線を水平に巡らし、刻み付隆線を垂下させている。垂下隆線で分割された器面には2条の沈線で縦に連なるJ字状の文様を垂下させ、2条の沈線間の帯状部に縄文（LR）を充填している。

配石遺構は調査区南側で検出された。配石は約1.5×0.6mの範囲で広がっており、西側の配石は規則的に並ぶが、東側の配石は散在している。長軸線上やや北寄りに、深鉢形土器（3）がほぼ正位の状態で埋置され、更に北側隅で石棒の基部破片が出土している。配石下には掘り込みがあり、その規模は2.0×0.7m、深さは0.21mであった。3は胴部下半を欠損する深鉢形土器。口径19.2cm、器高14.5cm（現存）。口縁下に2条の沈線と充填縄文LRによる縄文帯を水平に巡らし、以下に単沈線によるJ字状文様を数個垂下させ、J字状文内には文様の走行方向に合わせるようにして、縄文LRが充填施文されている。本資料では土器は1個体のみであるが、先の2号埋甕と同じ遺跡から出土しているので掲載した。（松田光太郎）



第8図 一括出土事例（7）

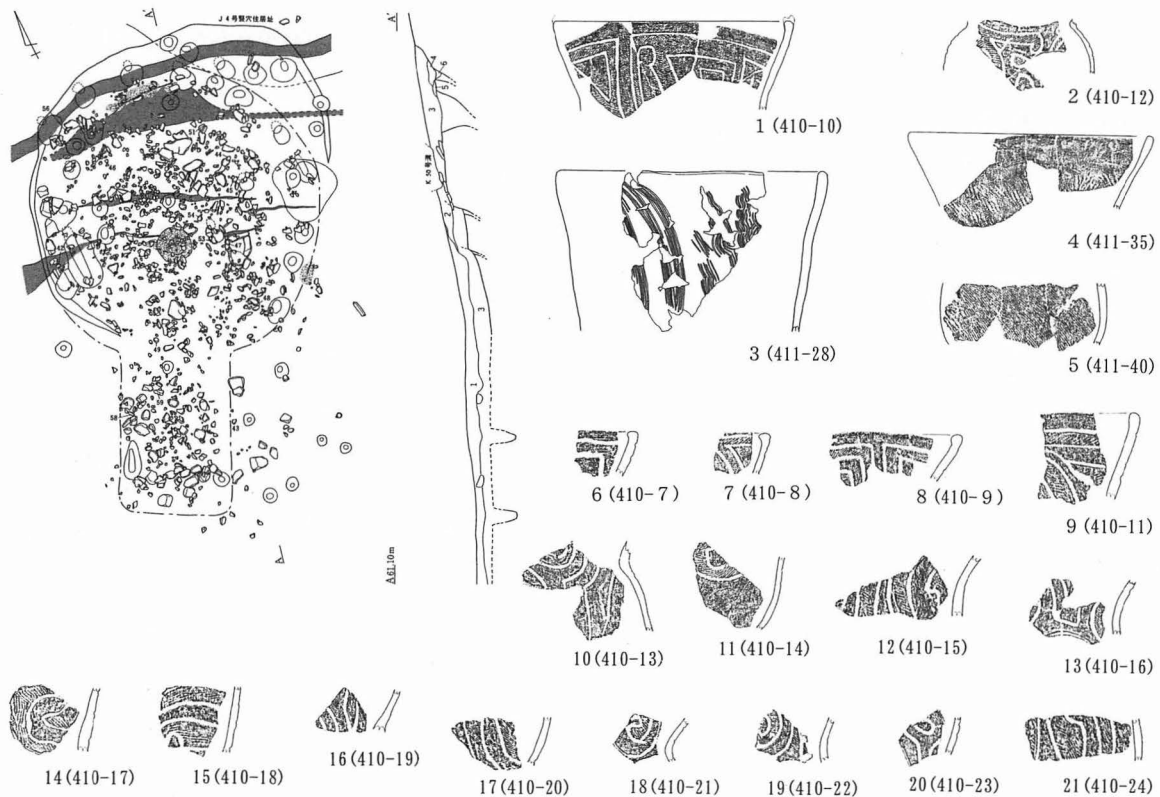
＜事例 8＞ 原口遺跡 J 2 号敷石住居址（第 9 図）

原口遺跡は北に金目川流域を望む大磯丘陵の北端に位置する。加曽利 B 式期の集落址として金目川をはさんだ北金目台地に王子ノ台遺跡、秦野盆地に曽根吹上遺跡、同じく秦野盆地で称名寺式期の住居址が発見された東向遺跡がある。

原口遺跡では縄文時代中期末～後期初頭を中心とした遺構が発見され、縄文時代の竪穴住居址 68 軒中 1 軒、敷石住居址 9 軒中 2 軒、埋設土器 33 基中 2 基が称名寺式期に帰属する。該期の復元土器を複数個体出土する遺構として J 1 号敷石住居址、J 2 号敷石住居址がある。J 1 号敷石住居址で出土した復元個体には、縄文帯による渦巻文をもつもの（復元図 2 個体）と列点を配した沈線帯で J 字状文を描くもの（復元図 4 個体）が、床面から浮いた状態で一緒に出土している。そのため一括性が乏しいと判断し今回の集成からはずした。

J 2 号敷石住居址からは早期中葉から後期の土器 411 点が出土し、うち称名寺式が 17.3% を占める。本遺溝から出土した土器として、報告書に復元図 4 点、破片図 15 点が掲載されている（第 9 図 1～21）。1 は、緩い波状口縁をなし、波頂部口唇に上方から円形刺突が施される。縄文帯で J 字状文のモチーフを描く。2 は、頸部に屈曲をもつ鉢形土器と思われ、胴部にやはり縄文帯による J 字状文もしくは渦巻文が施される。3 は櫛歯状文、4 は単節 R L 縄文、5 は無節 L 縄文が施された粗製土器である。6～21 は縄文帯で J 字状文等のモチーフが描かれる。5 割程が中期末から後期の縄文や櫛歯状文をもつ粗製土器であること、縄文帯による J 字状文をモチーフとした大型破片が目立つことから、本住居はいわゆる称名寺 1 式期に帰属するとされる。住居は地割れにより床面に多くの段差が生じている。（阿部友寿）

＜事例 8＞ 原口遺跡 J 2 号敷石住居址



第 9 図 一括出土事例（8）

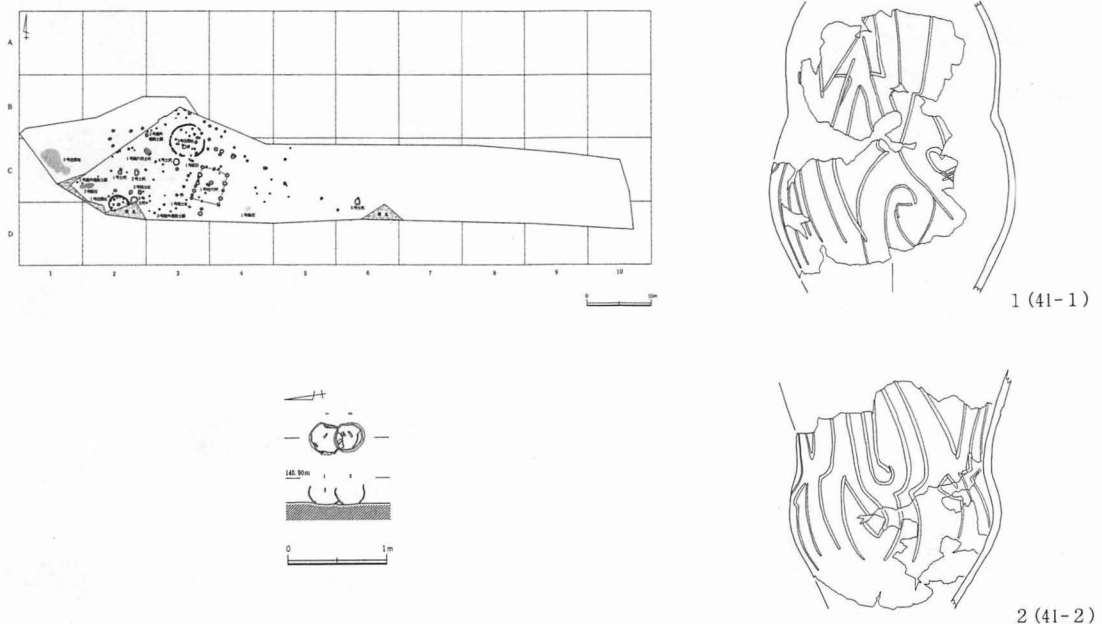
＜事例9＞ 東向遺跡 3号屋外埋設土器（第10図）

東向遺跡は、足柄上郡中井町に所在する遺跡で、中村川水系藤沢川の右岸に展開する丘陵上に立地している。遺跡の立地している丘陵は大磯丘陵北西部にあたり、遺跡立地面は標高140m程の緩斜面となっている。第一東海自動車道改築工事に伴う発掘調査が実施され、中期末～後期初頭期を主体とする集落址であることが明らかになった。該期の遺構は、住居址2軒、配石遺構1基、焼土址1基、土坑2基、屋外埋設土器3基が検出されているが、このうち、該期の深鉢2個体が併置された3号屋外埋設土器を事例として取り上げた。

3号屋外埋設土器は居住域と目される区域の南東端に占地するもので、正位で埋設された深鉢2個体が接した状態で検出されたものである。土器を埋設するための掘り込みは検出されていないが、本来は掘り方を有していたものと推察されている。検出時の状態は深鉢2個体が併置された様相を呈しているが、報告書では、第10図に掲載した2の土器を埋設する際に1の土器を破壊しているため、新旧2基の切り合いとされている。従って、本事例は、一括出土事例というよりも重複事例として捉えた方が良いだろう。

埋設されていた土器は、いずれも口縁部と底部を欠損する深鉢で、底部は埋設時に意図的に打ち欠かれたものと推測されている。第10図1は先に埋設されていたとされる個体である。胴部中位に緩やかな括れを有し、口縁部にむかってやや窄まりをみせる瓢状のプロポーシオンをとるもので、注口土器の可能性があると指摘されている。文様は縦位基調の沈線のみで描出されている。懸垂文のモチーフはJ字・逆J字・クランク状等を基調とするが、間隙に施された弧状の側線が重複施文されており、やや入り組んだ様相を呈している。2は後に埋設されたとされる個体で、胴部中位に緩やかな括れを有し、口縁部にむかって直線的にひらくプロポーシオンを呈している。文様は縦位基調の沈線のみで描出されている。幾分崩れた逆J字状懸垂文が胴部上位から下位まで貫かれたかたちで配されており、モチーフの下端はすべて開放されている。各々のモチーフが重複せず、独立して配されており、1にみられたような入り組んだ様相は認められない。（井辺一徳）

＜事例9＞ 東向遺跡 3号屋外埋設土器



第10図 一括出土事例（9）

神奈川県内 後期初頭土器出土主要遺跡地名表

(1)この表は、神奈川県内における縄文時代後期初頭の主要な遺跡をまとめたものである。掲載にあたっては、当該期の遺構（住居址・土坑・埋設土器など）が発見された遺跡の他、遺物包含層などから土器の出土が報告されている遺跡を対象とした。なお、以下の場合は都合によりデータから除外している。①遺跡台帳や遺跡地図で後期初頭土器の出土が記載されているのみの遺跡。②県史・市区町村史、年報・概要集などで後期初頭土器の出土が報じられているが、まとまった出土量が見込まれない遺跡。③正確な位置や内容が把握できない遺跡。
 (2)この表は、土器編年の基礎資料を集成するためにまとめたものであり、時期細分などについては次年度以降明らかにする予定である。
 (3)作成にあたっては分担して集成し、データベース化した。なお、表の編集は天野が担当した。

No.	遺跡名	所在地	文献No.	No.	遺跡名	所在地	文献No.
横浜市青葉区				49	長津田遺跡群宮之前南遺跡	長津田町字宮ノ前	145
1	受地だいやま遺跡	奈良町270他	56	50	西之谷大谷遺跡	三保町西之谷337-1他	65
2	関耕地遺跡	荏田町	127	51	能見堂遺跡	佐江戸町876他	129
横浜市旭区				52	東耕地遺跡	東本郷町1035他	57
3	小池遺跡	上白根町	46	53	松風台遺跡	松風台23-1番地外	76
横浜市泉区				川崎市麻生区			
4	中村宮ノ谷遺跡	岡津町字宮ノ谷2598他	87	54	岡上No.4 遺跡第2地点	岡上字栗畑745他	191
横浜市神奈川区				55	黒川地区遺跡群No.10遺跡	※	130
5	日向根遺跡	菅田町	6	56	黒川地区遺跡群宮添遺跡	黒川92他	130
横浜市金沢区				57	弦巻遺跡	高石3-25他	13
6	金沢文庫遺跡	金沢町142他	62	川崎市中原区			
7	称名寺貝塚	金沢町213	47	58	井田中原遺跡B地点	井田1485-1	207
8	室ノ木遺跡	六浦町室ノ木77-3-4	11	川崎市高津区			
横浜市港南区				59	新作小高台遺跡	新作字池ノ谷	44
9	港南台（榎戸第1遺跡）	日野町榎戸	14	60	新作八幡台遺跡	新作1323他	3
横浜市港北区				61	薬師院裏遺跡	新作3-1282	119
10	公団篠原団地内貝塚	篠原町72他	63	川崎市多摩区			
11	市営菅田住宅地内遺跡	小机町325他	64	62	下原遺跡	長尾7-12	180・193
12	篠原大原遺跡	篠原町72-2他	212	63	西菅遺跡第3地点	菅仙谷2-5他	15
13	晝屋の上遺跡	新吉田町	128	川崎市宮前区			
14	新羽第9遺跡	新羽4550他	7	64	菅生水沢遺跡	菅生1-1他	37
15	師岡打越遺跡	師岡町265他	74	横須賀市			
16	山田大塚遺跡	東山田町2015他	75	65	上吉井北遺跡	吉井字上吉井67-1他	131
横浜市戸塚区				66	上吉井南遺跡	吉井字上吉井117他	131
17	上倉田遺跡第Ⅱ遺跡	上倉田	35	67	田戸遺跡	田戸台90-4	101
18	細田遺跡	汲沢字細田	28	68	三足谷遺跡	池田町1-35-1他	131
19	長尾台遺跡	長尾台町	23	69	吉井城山遺跡	吉井字下吉井735他	163
横浜市緑区				平塚市			
20	池辺第4遺跡	池辺町734他	12	70	王子ノ台遺跡		82
横浜市都筑区				71	大久保遺跡		102
21	上の山遺跡	大熊町892他	88	72	片岡遺跡	片岡字宮ノ前1250番地他	66
22	大熊仲町遺跡	仲町台3丁目16	179	73	上吉沢市場地区遺跡群A地区	上吉沢市場1530-1他	181
23	折本第13遺跡（折本貝塚）	折本町1170他	8	74	上ノ入A遺跡	岡崎	19
24	折本第16遺跡（観音山遺跡）	折本町2030他	7	75	相模岡崎城跡	岡崎字城山5416番地他	49
25	折本西原遺跡	折本町	24	76	真田・北金目遺跡群15D区	北金目字入谷戸1523外	268
26	川和向原遺跡	川和台25	111	77	真田・北金目遺跡群6区	北金目字大久保	209
27	北川貝塚南遺跡	早瀬3丁目	128	78	真田大原遺跡	真田521-1他	77
28	華蔵台南遺跡	荏田南1丁目20	97	79	山王久保遺跡	岡崎字山王久保3652	78
29	小丸遺跡	大丸11	160	80	高間原遺跡	高間原947番1号他	4
30	三の丸遺跡	川和町2047他	43	81	根岸B遺跡	万田鳴子谷戸402番外地	164
31	花見山遺跡	花見山15～35	112	82	原口遺跡	上吉沢1617番地外	200
32	原出口遺跡	川和台33	111	83	日向岡遺跡	日向岡2丁目9-1	59
33	水窪遺跡	中川町1529他	52	84	万田遺跡	万田331-3番地先	193・201
34	藪根不動原遺跡	※	27	85	水尻遺跡	北金目字水尻1085番地外	132
横浜市保土ヶ谷区				86	向原遺跡	上吉沢字向井原	91
35	帷子峯遺跡	峰沢町358-1他	29・48	鎌倉市			
36	川島町西原遺跡	川島町1,505他	70	87	関谷島ノ神西遺跡	関谷字島ノ神1524番1他	53
37	常盤台遺跡	常盤台横浜国立大学構内	36	藤沢市			
38	仏向遺跡	仏向町1352他	89	88	西部208地点遺跡	大庭字丸山5909番	31
39	南原遺跡	川島町973他	197・198	89	西部209地点遺跡	大庭字二番構5686他	83
横浜市中区				90	遠藤貝塚（西部217地点）		98
40	稲荷山貝塚	山谷56他	199	91	西部225地点遺跡	大庭字羽根沢5119-1他	84
41	横浜市道2号線No.4 試掘遺跡	南太田3丁目320-1	25	92	善行遺跡	善行1-6-1他	103
42	横浜市道2号線No.6-I 遺跡	南太田4丁目	30	93	代官山遺跡	長後1894他	58
横浜市緑区				94	西富貝塚（藤沢市No.46遺跡）	西富字光徳467他	210
43	稲ヶ原遺跡A地点	さつきが丘8の3番地外	90	95	藤沢市No.322遺跡	用田字御手洗水738他	165
44	大熊第5遺跡	大熊町924他	9	96	藤沢市No.431遺跡	白旗3-2580-2他	182
45	大熊第4遺跡	大熊町907他	10	97	南鍛冶山遺跡	石川205番地	113
46	宿根南遺跡	東本郷6丁目1193-1他	161	98	用田鳥居前遺跡	用田655他	202
47	長津田遺跡群住撰遺跡	長津田町字住撰	118	小田原市			
48	長津田遺跡群宮之前遺跡	長津田町字宮ノ前	162	99	御組長屋遺跡	南町1丁目	194

No.	遺跡名	所在地	文献No.	No.	遺跡名	所在地	文献No.
100	久野一本松遺跡	久野1282他	203	161	三ノ宮・下谷戸遺跡 (No14)	三ノ宮字下谷戸1100他	185
101	久野丘陵	久野1267	54	162	下北原遺跡	日向字下北原	20
102	久野諏訪ノ原遺跡ノ原3768	久野諏訪ノ原3768	32	163	咳止橋遺跡	上粕屋字咳止橋	154
103	森上遺跡第Ⅰ地点	久野字森上1654番地7他	146	164	田中・万代遺跡	田中字万代431-1他	195
茅ヶ崎市				165	坪ノ内・宮ノ前遺跡 (No17)	坪ノ内字宮ノ前87他	186
104	臼久保遺跡	芹沢字臼久保4222他	166	166	長竹遺跡	西富岡982-5外	94
105	遠藤貝塚 (西部217地点)	堤79-4	98	167	No160遺跡	西富岡11・73~80	187
106	芹沢配水池開遺跡群大島仲ノ谷遺跡	堤3573他	133	168	日向南新田遺跡	日向字南新田469他	60
逗子市				海老名市			
107	池子遺跡群No1-A地点	池子	167	169	上浜田遺跡	大谷字上打越他	22
108	池子遺跡群No1-A東地点	池子	168	170	望地遺跡	望地1丁目4-2番地他	155-172
109	池子遺跡群No1-B地点	池子	104	座間市			
110	池子遺跡群No1-C地点	池子	120	171	上栗原D遺跡	栗原3029-1番地	40
111	池子遺跡群No6地点	池子	134	172	鈴鹿神社遺跡		2
112	池子遺跡群No7地点東地区	池子	134	173	中原・加知久保遺跡	栗原4274番地他	51
113	桜山うつき野遺跡	桜山8丁目2038他	213	174	山ノ上遺跡		73
相模原市				南足柄市			
114	相原八幡前遺跡	相原4-176-1他	205	175	塚田遺跡		173
115	東原遺跡	当麻1358番地他	92	綾瀬市			
116	勝坂遺跡	磯部字勝坂1667-1他	33-34 104-121	176	早川天神森遺跡	早川字天神森655-5他	45
117	上中丸遺跡	下溝字上中丸406他	106	177	宮久保遺跡	早川字新堀淵2031番地他	61
118	相模原市No76遺跡	古淵4	169	178	吉岡遺跡群 A 地点	吉岡字蟹ヶ谷858他	139
119	塩田遺跡	田名字下塩田	21	179	吉岡遺跡群 B 地点	吉岡字蟹ヶ谷887他	139
120	下中丸遺跡 (A 地区)	下溝字下中丸661他	93	大磯町			
121	下溝上谷開戸遺跡	下溝1266-1	147	180	石神台遺跡		95
122	下溝鳩川遺跡	下溝字溝開戸737-1他	107	181	大磯小学校遺跡	東小磯3番地	16
123	新戸遺跡	新戸2607番2他	67	182	城山遺跡	西小磯	41-55
124	当麻遺跡	田名ヶ谷1045他	17	中井町			
125	当麻亀ノ甲・西原遺跡	当麻490-2ほか	205	183	東向遺跡 (No33)	境字東向1620-1他	156
126	田名花ヶ谷戸遺跡	田名花ヶ谷戸10456-1他	99	184	松本大久保台遺跡	松本字大久保台	174
127	四ッ谷・作ノ口遺跡	上溝4392他	68	大井町			
三浦市				185	矢頭遺跡 (No35)	柳字下矢頭396-1他	140
128	油壺遺跡	三崎町小網代字戸張1201-1他	214	山北町			
129	間口東洞穴	南下浦町松輪	135	186	尾崎遺跡	神尾田	18
秦野市				愛川町			
130	今泉峰遺跡	秦野市今泉877番地	148	187	白ヶ谷遺跡	半原字白ヶ谷3831番地2	215
131	今泉峰台遺跡	今泉953番地	148	188	半原屈中原遺跡	半原5371-1他	188
132	今泉向原遺跡	今泉822番地	148	189	半原向原遺跡	5434他	196
133	寺山金目原遺跡	寺山字金目原11番	183	清川村			
134	小南遺跡 (No28)	南矢名字小南上2155-1他	136	190	煤ヶ谷原遺跡	煤ヶ谷2251番4他	80
135	下大槻峯遺跡 (No30)	下大槻664他	137	191	宮ヶ瀬遺跡群馬場 (No3) 遺跡	宮ヶ瀬字馬場1447他	124
136	砂田台遺跡	南矢名165-1	71	192	宮ヶ瀬遺跡群上原 (No13) 遺跡	宮ヶ瀬字大和台900他	141
137	曾屋吹上遺跡	曾谷字浄屋682番	216	193	宮ヶ瀬遺跡群上村 (No1) 遺跡	宮ヶ瀬字上村66他	81
138	秦野市No143地点	洪沢町486-1他	72	194	宮ヶ瀬遺跡群表の屋敷 (No8) 遺跡	宮ヶ瀬字馬場1370他	142
139	秦野市No19寺山遺跡	寺山485番地外	122	195	宮ヶ瀬遺跡群北原 (No9) 遺跡	宮ヶ瀬字北原1159他	109
140	波多野城址		85	196	宮ヶ瀬遺跡群北原 (No11) 遺跡	宮ヶ瀬字北原1080他	109
141	平沢同明遺跡	平沢1168番地	6-38	197	宮ヶ瀬遺跡群北原 (No10・11北) 遺跡	宮ヶ瀬字北原1078他	157
厚木市				198	宮ヶ瀬遺跡群久保ノ坂 (No4) 遺跡	宮ヶ瀬字馬場1280他	158
142	御屋敷添遺跡	愛甲275-5外	149-152	199	宮ヶ瀬遺跡群馬場 (No6) 遺跡	宮ヶ瀬字馬場1330他	116-175
143	恩名沖原遺跡	恩名字沖原1582-3他	184	200	宮ヶ瀬遺跡群馬場 (No7) 遺跡	宮ヶ瀬字馬場1380他	143
144	下萩野山中遺跡	下萩野山中249-5番地外	151	201	宮ヶ瀬遺跡群南 (No2) 遺跡	宮ヶ瀬字馬場1500他	125
145	子ノ神遺跡	戸室字子ノ神	152	城山町			
146	東谷戸遺跡	上萩野430番地他	108	202	風間遺跡	川尻字風間5294他	216
大和市				203	川尻遺跡※	川尻字谷ヶ原792-2他	96・176-189
147	相ノ原遺跡第Ⅴ地点 (No207遺跡)	つきみ野3-28-2	79-114・138	204	川尻石器時代遺跡	川尻小字谷ヶ原769-1	190
148	下鶴間甲一号遺跡	下鶴間甲一号100-1他	86	205	中村遺跡	向原2丁目1225-1他	126
149	下鶴間浅間社遺跡	つきみ野8丁目14番地	26	津久井町			
150	下鶴間長堀遺跡	下鶴間2839-1	100	206	青根上野田遺跡	青根字上野田1770他	110
151	台山遺跡	下鶴間乙三号2047-9	69	207	青野原バイパス開遺跡群 明日庭遺跡	青野原字明日庭3150他	117
152	目黒川東岸遺跡	つきみ野3丁目	50	208	青野原バイパス開遺跡群 大地開戸遺跡	青野原字大地開戸3284他	117
153	大和市No2地点遺跡	下鶴間2563	39	209	青山開戸遺跡	青山3179-3	144
伊勢原市				210	県営三ヶ木団地内遺跡		177
154	池端・椿山遺跡	池端242他	214	211	道志導水路開遺跡群 青根引山遺跡	青根字上野1729-7他	178
155	伊勢原上粕屋団地内遺跡	上粕屋369-1外	123	212	道志導水路開遺跡群 青根馬渡No2遺跡	青根字馬渡1676-1他	178
156	粕上原遺跡	東大竹字粕上原946-1他	170	213	道志導水路開遺跡群 青根馬渡No3遺跡	青根字馬渡1698-1他	178
157	上粕屋・上尾崎遺跡 (No10)	上粕屋字上尾崎656他	171	214	道志導水路開遺跡群 青根馬渡No5遺跡	青根字馬渡1632-2他	178
158	上粕屋・川上遺跡 (No5)	上粕屋字川上161他	153	相模湖町			
159	上粕屋・ノ引北遺跡 (No11)	上粕屋字北ノ引1907他	171	215	寸嵐一号遺跡	寸嵐字寸沢嵐980-1他	42
160	神成松遺跡	上粕屋字神成松2825-1他	115	216	寸嵐二号遺跡	寸嵐字寸沢嵐871-1	159

文献目録（文献Noは表中文献Noと一致）

- 1 1960 吉田格『横浜市称名寺貝塚』
- 2 1966 寺村光晴『蟹ヶ澤 鈴鹿遺跡一座間における1962・64年の考古学的調査』神奈川県座間町文化財調査報告 第二集 座間町文化財保護委員会
- 3 1967 伊東秀吉ほか『川崎市末長遺跡発掘調査報告』川崎市教育委員会
- 4 1996 秋田かな子『東海大学校地内遺跡調査団報告』6 東海大学校地内遺跡調査団
- 5 1969 杉山博久ほか『神奈川県秦野市平沢同明遺跡の調査』『古代』第52号
- 6 1971 井上義弘『横浜市金沢区富岡町長昌寺前横穴群発掘調査報告、横浜市神奈川区菅町日向根遺跡発掘調査報告』『昭和46年度 横浜市埋蔵文化財調査報告書（Ⅲ）』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 7 1971 伊藤郭ほか『早淵川南岸地域における埋蔵文化財の予備調査』『昭和45年度 港北区ニュータウン地域内文化財調査報告（Ⅰ）』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 8 1971 坂上克弘ほか『早淵川北岸地域および周辺地域における埋蔵文化財の予備調査』『昭和45年度 港北区ニュータウン地域内文化財調査報告Ⅱ』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 9 1971 坂上克弘ほか『早淵川北岸地域および周辺地域における埋蔵文化財の予備調査』『昭和45年度 港北区ニュータウン地域内文化財調査報告Ⅱ』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 10 1971 伊藤郭ほか『早淵川南岸地域における埋蔵文化財の予備調査』『昭和45年度 港北区ニュータウン地域内文化財調査報告（Ⅰ）』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 11 1973 赤星直忠ほか『横浜市室ノ木遺跡』横須賀考古学会
- 12 1973 坂本彰ほか『東方第7遺跡・東方第9遺跡・池辺第4遺跡・荏田第10遺跡』港北ニュータウン地域内文化財調査報告 Ⅳ 港北ニュータウン埋蔵文化財調査団
- 13 1975 伊東秀吉ほか『川崎市多摩区高石字弦巻遺跡発掘調査報告』川崎市文化財調査集録 第10集 川崎市教育委員会
- 14 1976 川上久夫ほか『港南台横浜市港南台土地区画整理事業に伴う調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告 9 神奈川県教育委員会
- 15 1976 持田春吉ほか『西菅遺跡第三地点発掘調査報告』日本住宅公団西菅地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査 日本住宅公団首都圏宅地開発本部
- 16 1976 鈴木一男『大磯小学校遺跡』大磯町文化財発掘調査報告書 第1集 大磯町教育委員会
- 17 1977 白石浩之ほか『当麻遺跡・上依知遺跡 一般国道129号線改良工事にともなう調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告 12 神奈川県教育委員会
- 18 1977 岡本孝之ほか『尾崎遺跡 酒匂川総合開発事業にともなう調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告 13 神奈川県教育委員会
- 19 1978 小島弘義ほか『上ノ入A遺跡発掘調査報告』平塚市博物館資料 No10 平塚市博物館
- 20 1978 鈴木保彦ほか『下北原遺跡 伊勢原市下北原所在の縄文時代配石遺構の調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告 14 神奈川県教育委員会
- 21 1979 青木豊ほか『下塩田遺跡』下塩田遺跡調査団
- 22 1979 國平健三ほか『上浜田遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告 15 神奈川県教育委員会
- 23 1980 平子順一ほか『昭和55年度 長尾台遺跡調査報告書』文化財シリーズ 55-2 横浜市教育委員会
- 24 1980 石井寛ほか『折本西原遺跡第2次・3次調査 横浜市都市計画道路新横浜元石川線 折本地区埋蔵文化財発掘調査報告書』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 25 1980 岡田威夫ほか『横浜市道高速2号線埋蔵文化財試掘報告書』横浜市道高速2号線埋蔵文化財試掘調査団
- 26 1980 伊東秀吉ほか『大和市文化財調査報告書』第4集 大和市教育委員会
- 27 1981 須山幸雄ほか『藪根不動原遺跡発掘調査報告』市立都田西小学校建設に伴う埋蔵文化財調査報告書 横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 28 1981 白石浩之ほか『細田遺跡 県立汲沢高等学校建設にともなう調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告 23 神奈川県教育委員会
- 29 1981 佐々木藤雄ほか『帷子峯遺跡 横浜新道三ツ沢ジャンクション建設予定地内遺跡第1次発掘調査報告書』横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡試掘調査団／横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡調査会
- 30 1981 岡田威夫ほか『横浜市道高速2号線埋蔵文化財発掘調査報告書 No6遺跡-Ⅰ 1980年度』横浜市道高速2号線埋蔵文化財発掘調査団
- 31 1981 寺田兼方ほか『西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査報告書（1977～1980）』藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査団
- 32 1981 山内昭二『小田原市久野諏訪／原清掃工場建設予定地遺跡発掘調査報告書』小田原市文化財調査報告書 第11集 小田原市教育委員会
- 33 1981 江藤昭ほか『勝坂遺跡範囲確認緊急調査報告書』勝坂遺跡第21次発掘調査団
- 34 1981 青木豊ほか『勝坂遺跡』相模原市教育委員会
- 35 1982 高杉博章ほか『横浜市上倉田遺跡』高杉博章／明治学院大学上倉田遺跡調査団
- 36 1982 岡本勇『常盤台遺跡 横浜国立大学構内における埋蔵文化財発掘調査の概報』横浜国立大学
- 37 1982 竹石健二ほか『川崎市高津区菅生水沢遺跡発掘調査報告書 川崎市中央卸売市場北部市場建設に伴う調査』竹石健二／日本大学文学部史学研究室
- 38 1982 杉山博久ほか『秦野市同明遺跡』秦野市教育委員会
- 39 1982 相田薫ほか『大和市文化財調査報告書』第10集 大和市教育委員会
- 40 1982 金子皓彦ほか『上栗原D遺跡調査報告書』座間市文化財調査報告書 第8集 座間市教育委員会
- 41 1982 鈴木一男『城山・北ノ端・中堰・坊地 大磯町における沖積段丘上の遺跡発掘調査報告書』大磯町文化財調査報告書 第23集 大磯町教育委員会
- 42 1982 田中悟道『寸嵐一号遺跡調査報告書』相模湖町教育委員会
- 43 1983 倉沢和子ほか『三の丸遺跡発掘調査報告書』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 Ⅵ 横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 44 1983 増子章二ほか『新作小高台遺跡発掘調査報告書 本編・論考編』川崎市教育委員会
- 45 1983 岡本孝之ほか『早川天神森遺跡 都市計画道路早川本蓼川線建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 2 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 46 1984 國平健三『小池遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 7 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 47 1984 岡本勇ほか『称名寺Ⅰ貝塚発掘調査報告』称名寺貝塚発掘調査団／横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 48 1984 佐々木藤雄ほか『帷子峯遺跡 横浜新道三ツ沢ジャンクション建設予定地遺跡発掘調査報告書』横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡調査団／同調査会
- 49 1984 中村康二郎ほか『相模岡崎城跡 遺跡詳細分布確認調査概要報告書』平塚市教育委員会
- 50 1984 村澤正弘『大和市文化財調査報告書』第16集 大和市教育委員会
- 51 1984 金子皓彦・浅野寛『中原・加知久保遺跡発掘調査報告書』座間市文化財調査報告書 第10集 座間市教育委員会／中原・加知久保遺跡調査会
- 52 1985 石井寛ほか『水窪遺跡 茅ヶ崎町遺跡群』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 Ⅶ 港北ニュータウン埋蔵文化財調査団／横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 53 1985 永井正憲『関谷島ノ神西遺跡発掘調査報告書』鎌倉市教育委員会
- 54 1985 田尾誠敏ほか『久野丘陵詳細分布調査報告書』小田原市文化財調査報告書 第17集 小田原市教育委員会
- 55 1985 鈴木一男『城山遺跡Ⅱ』大磯町文化財調査報告書 第26集 大磯町教育委員会
- 56 1986 重久淳一ほか『No11地点 受地だいやま遺跡』『奈良地区遺跡群Ⅰ発掘調査報告』奈良地区遺跡調査団

- 57 1986 山本暉久ほか『東耕地遺跡 県立みどり養護学校建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 14 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 58 1986 上田薫ほか『代官山遺跡 県立長後高等学校建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 11 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 59 1987 青地俊郎ほか『日向岡遺跡』平塚市埋蔵文化財シリーズ 5 平塚市教育委員会
- 60 1987 服部実喜ほか『日向南新田遺跡 神奈川能力開発センター建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 16 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 61 1987 長岡文紀『宮久保遺跡Ⅰ 県立綾瀬西高等学校建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 15 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 62 1988 山本暉久ほか『金沢文庫遺跡 県立金沢文庫新築予定地内遺跡（国指定史跡「称名寺境内」）の調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 19 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 63 1988 中村若枝『公団篠原団地内貝塚資料 横浜市港北区』中村若枝
- 64 1988 橋本昌幸『市営菅田住宅地内遺跡発掘調査報告 市営菅田住宅建替に伴う埋蔵文化財調査報告書』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 65 1988 林原利明ほか『西之谷大谷遺跡 東洋英和女学院横浜校地造成にかかる発掘調査概要報告書』相武考古学研究所
- 66 1988 青地俊郎『昭和61年度発掘調査 高林寺遺跡ほか8ヶ所』平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書 1 平塚市教育委員会
- 67 1988 御堂島正ほか『新戸遺跡 県立新磯高校建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 17 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 68 1988 江藤昭ほか『四ッ谷、作ノ口遺跡』相模原市四ッ谷、作ノ口遺跡調査団
- 69 1988 戸田哲也ほか『台山遺跡発掘調査報告書』台山遺跡発掘調査団
- 70 1989 橋本昌幸『川島町西原遺跡発掘調査報告 市営西原住宅建替に伴う埋蔵文化財調査報告書』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 71 1989 矢戸信悟ほか『砂台北遺跡Ⅰ 県立秦野精華園建替に伴う調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 20 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 72 1989 江藤昭『秦野市No143地点』神奈川県秦野市No143遺跡調査団
- 73 1989 大上周三『山ノ上遺跡Ⅰ』神奈川県文化財調査報告書 第48集 神奈川県教育庁
- 74 1990 戸田哲也ほか『師岡打越遺跡発掘調査報告書 横浜市港北区』（仮称）大倉山マンション建設用地内遺跡発掘調査団／玉川文化財研究所
- 75 1990 石井寛ほか『山田大塚遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 XI 横浜市埋蔵文化財センター
- 76 1990 渡辺務『横浜市緑区 松風台遺跡』日本竊業史研究所
- 77 1990 秋田かな子『真田大原遺跡』東海大学校地内遺跡調査団
- 78 1990 青地俊郎『山王久保遺跡 岡崎76号線道路建設に伴う発掘調査』平塚市埋蔵文化財シリーズ 17 平塚市
- 79 1990 西田泰民ほか『月見野遺跡群相ノ原遺跡』大和市文化財調査報告書 第38集 大和市教育委員会
- 80 1990 近藤英夫『煤ヶ谷原遺跡』煤ヶ谷原遺跡発掘調査団
- 81 1990 鈴木次郎ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅰ 上村遺跡・半原向原遺跡 宮ヶ瀬ダム建設に伴う発掘調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 21 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 82 1991 秋田かな子『王子ノ台遺跡』東海大学校地内遺跡調査団報告 2 東海大学校地内遺跡調査団
- 83 1991 寺田兼方ほか『西部209地点遺跡』『西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査報告書』藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査団
- 84 1991 寺田兼方ほか『西部225地点遺跡』『西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査報告書』藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査団
- 85 1991 石丸照『波多野城址発掘調査報告書 第一次調査から第七次調査までの記録』秦野の文化財 第27集 秦野市教育委員会
- 86 1991 高杉博章『下鶴間甲一号遺跡』下鶴間甲一号遺跡調査団
- 87 1992 呉地英夫ほか『中村宮ノ谷遺跡発掘調査報告書 横浜市泉区』中村宮ノ谷遺跡発掘調査団／相模鉄道（株）
- 88 1992 坂上克弘ほか『上の山遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 XII 横浜市埋蔵文化財センター
- 89 1992 岡本勇ほか『仏向遺跡 横浜市保土ヶ谷区所在の縄文時代遺跡』（財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 90 1992 平子順一ほか『稲ヶ原遺跡A地点 発掘調査報告—横浜市さつきが丘小学校建設に伴う埋蔵文化財調査報告—』財団法人横浜ふるさと歴史財団
- 91 1992 長岡文紀『向原遺跡Ⅱ（3次） 県企業庁平塚配水池建設に伴う平塚市上吉沢所在遺跡の調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 25 神奈川県立埋蔵文化財センター ※
- 92 1992 三ツ橋勝『神奈川県相模原市東原遺跡』相模原市当麻・下溝遺跡群調査会
- 93 1992 岡本勇ほか『神奈川県相模原市下中丸遺跡』相模原市当麻・下溝遺跡群調査会
- 94 1992 高杉博章ほか『神奈川県伊勢原市 長竹遺跡 一般県道上粕屋厚木線交通安全施設等整備工事にともなう調査』上粕屋厚木線発掘調査団
- 95 1992 鈴木一男『石神台』大磯町教育委員会
- 96 1992 御堂島正ほか『川尻遺跡 県道相模原津久井線川尻バイパス建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 23 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 97 1993 石井寛『牛ヶ谷遺跡・華蔵台南遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 XIV （財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 98 1993 寺田兼方ほか『遠藤貝塚（西部217地点）』藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査団
- 99 1993 滝澤亮ほか『田名塩田原地区遺跡群 田名花ヶ谷遺跡』田名塩田原地区埋蔵文化財調査団
- 100 1993 相田薫ほか『下鶴間長堀遺跡第2地点』大和市文化財調査報告書 第57集 大和市教育委員会
- 101 1994 野内秀明『田戸遺跡 海上自衛隊2号宿舍建設に伴う事前調査』横須賀市埋蔵文化財調査報告書 第4集 横須賀市教育委員会
- 102 1994 田尾誠敏『大久保遺跡』『東海大学校地内遺跡調査団報告』4 東海大学校地内遺跡調査団
- 103 1994 戸田哲也ほか『善行遺跡発掘調査報告書』善行遺跡調査団
- 104 1994 山本暉久ほか『池子遺跡群Ⅰ No2地点・No1-B地点 池子米軍家族住宅建設に伴う調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 27 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 105 1994 土井永好『勝坂遺跡の調査—その回顧と展望—』相模原市教育委員会
- 106 1994 岡本勇ほか『神奈川県相模原市上中丸遺跡』相模原市当麻・下溝遺跡群調査会
- 107 1994 戸田哲也ほか『下溝鳩川遺跡発掘調査報告書』下溝鳩川遺跡調査団
- 108 1994 迫和幸ほか『神奈川県厚木市東谷戸遺跡発掘調査報告書』上荻野東部土地区画整理事業区域内遺跡発掘調査団
- 109 1994 川村正史ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅳ 北原（No9）遺跡（2）、北原（No11）遺跡 宮ヶ瀬ダム建設に伴う発掘調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 21 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 110 1994 河野喜映ほか『青根上野田遺跡 国道413号線青根バイパス搬入路建設に伴う調査』かながわ考古学財団調査報告 2 （財）かながわ考古学財団
- 111 1995 石井寛『川和向原遺跡 原出口遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 XIV （財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 112 1995 坂本彰ほか『花見山遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 XIV （財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 113 1995 小林謙一ほか『南鍛冶山遺跡発掘調査報告書』藤沢市教育委員会
- 114 1995 滝澤亮ほか『月見野遺跡群相ノ原遺跡第V地点』『大和市文化財調査報告書』第61集 大和市教育委員会
- 115 1995 小林義典ほか『神奈川県伊勢原市 神成松遺跡発掘調査報告書』神成松遺跡発掘調査団

- 116 1995 鈴木次郎ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅴ 馬場 (No6) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 4 (財)かながわ考古学財団
- 117 1995 井澤純ほか『明日庭遺跡・大地開戸遺跡』『青野原バイパス関連遺跡 国道413号線青野原バイパス建設に伴う調査』かながわ考古学財団調査報告 5 (財)かながわ考古学財団
- 118 1996 井澤純ほか『長津田遺跡群Ⅱ 住撰遺跡 長津田地区特定土地区画整理事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 12 (財)かながわ考古学財団
- 119 1996 碓井三子ほか『川崎市高津区 薬師院裏遺跡 発掘調査報告書』薬師院裏遺跡発掘調査団
- 120 1996 榊淵規彰ほか『池子遺跡群Ⅲ No1-C地点 (1) 池子米軍家族住宅建設にともなう調査』かながわ考古学財団調査報告 11 (財)かながわ考古学財団
- 121 1996 吉田寿ほか『勝坂遺跡第47次調査』相模原市市道磯部30号ほか1道路改良事業地内遺跡調査団
- 122 1996 後藤喜八郎『秦野市Na19寺山遺跡発掘調査報告書』Na19寺山遺跡発掘調査団
- 123 1996 高杉博章ほか『神奈川県伊勢原市 伊勢原上粕屋団地内遺跡』伊勢原上粕屋団地内遺跡調査団
- 124 1996 富永樹之『宮ヶ瀬遺跡群Ⅶ 馬場 (No3) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 ※ (財)かながわ考古学財団
- 125 1996 近野正幸ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅷ 南 (No2) 遺跡・馬場 (No5) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 10 (財)かながわ考古学財団
- 126 1996 吉田浩明ほか『神奈川県城山町 中村遺跡発掘調査報告書』城山町No6遺跡発掘調査団
- 127 1997 田村良照ほか『横浜市観福寺北遺跡群開耕地遺跡発掘調査報告書』観福寺北遺跡発掘調査団
- 128 1997 鈴木重信ほか『昼屋の上遺跡・西谷戸の上遺跡・北川貝塚南遺跡 第三京浜道路 (改築) 新港北インターチェンジ (仮称) 埋蔵文化財発掘調査報告書』(財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 129 1997 小宮恒雄『能見堂遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告22 (財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 130 1997 碓井三子ほか『宮添遺跡・No10遺跡 (縄文編)』『川崎市麻生区 黒川地区遺跡群報告書』Ⅷ 黒川地区遺跡調査団
- 131 1997 玉口時雄ほか『吉井・池田地区遺跡群Ⅰ 吉井池田土地区画整理事業に伴う調査報告書 三足谷遺跡・青池遺跡・上吉井北遺跡・上吉井南遺跡・西谷遺跡・No33地点』吉井・池田地区埋蔵文化財発掘調査団
- 132 1997 田尾誠敏『水尻遺跡』東海大学校地内遺跡調査団
- 133 1997 阿部友寿ほか『芹沢配水池関連遺跡群 行谷遺跡・大島仲ノ谷遺跡・諏訪谷西遺跡・椎ノ木坂遺跡 芹沢配水池送水管埋設に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 28 (財)かながわ考古学財団
- 134 1997 山本暉久ほか『池子遺跡群Ⅳ No6地点・No7地点東地区・No7地点西地区・No15地点・No16地点・No17地点・No18地点 池子米軍家族住宅建設にともなう調査』かながわ考古学財団調査報告 26 (財)かながわ考古学財団
- 135 1997 川上久夫・野内秀明・剣持輝久・木暮慶明『神奈川県三浦市松輪 間口東洞穴遺跡一急傾斜防災工事にともなう緊急調査一』松輪間口東洞穴遺跡調査団
- 136 1997 村上吉正ほか『小南遺跡 (No28)・東北久保・鳥居松遺跡 (No29) 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告 1 秦野市内』かながわ考古学財団調査報告 23 (財)かながわ考古学財団
- 137 1997 大上周三ほか『下大槻峯遺跡 (No30)Ⅰ 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告 2 秦野市内』かながわ考古学財団調査報告 24 (財)かながわ考古学財団
- 138 1997 村澤正弘ほか『相ノ原遺跡第Ⅴ地点第4次調査 (大和市Na207遺跡) 大和市文化財調査報告書 第65集 大和市教育委員会
- 139 1997 砂田佳弘ほか『吉岡遺跡群Ⅲ 旧石器時代2 B2・L2層の石器文化・縄文時代1 早期～後期 綾瀬浄水場建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 20 (財)かながわ考古学財団
- 140 1997 西川修一ほか『宮畑 (No34) 遺跡・矢頭 (No35) 遺跡・大久保 (No36) 遺跡 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告 3 大井町内』かながわ考古学財団調査報告 25 (財)かながわ考古学財団
- 141 1997 鈴木次郎ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅻ 上原 (No13) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 18 (財)かながわ考古学財団
- 142 1997 近野正幸ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅻ 第2分冊 縄文時代終末～弥生時代・縄文時代・付編 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 19 (財)かながわ考古学財団
- 143 1997 市川正史ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅺ 馬場 (No7) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 17 (財)かながわ考古学財団
- 144 1997 服部実喜ほか『青山開戸遺跡 宮ヶ瀬ダム・津久井導水路管理用道路建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 29 (財)かながわ考古学財団
- 145 1998 伊丹徹ほか『長津田遺跡群Ⅳ 宮之前遺跡 長津田地区特定土地区画整理事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 37 (財)かながわ考古学財団
- 146 1998 小林義典『神奈川県小田原市 森上遺跡第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ地点発掘調査報告書』小田原市Na114遺跡発掘調査団
- 147 1998 滝澤亮ほか『下溝上谷開戸遺跡』相模原市下溝上谷開戸
- 148 1998 増田精一『今泉遺跡 秦野市今泉台特定土地区画整理事業に伴う今泉地区遺跡群発掘調査報告書』今泉地区遺跡群発掘調査団
- 149 1998 相原俊夫ほか『神奈川県厚木市 御屋敷添遺跡第1地点発掘調査報告書』愛甲御屋敷添遺跡発掘調査団
- 150 1998 西川修一ほか『御屋敷添遺跡第3地点 (No1)・第4地点 (No2)・第5地点 (No44)・高森・一ノ崎遺跡 (No37)・高森・窪谷遺跡 (No3) 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告 7 厚木・伊勢原市内』かながわ考古学財団調査報告 33 (財)かながわ考古学財団
- 151 1998 香村紘一『下荻野山中遺跡 神奈川県厚木市一般国道412号本厚木・上荻野バイパス事業に伴う発掘調査報告書』Ⅸ 国道412号線遺跡発掘調査団
- 152 1998 山田不二郎ほか『子ノ神 (Ⅳ) 厚木市戸室所在子ノ神遺跡の調査』厚木市教育委員会
- 153 1998 穴戸信悟ほか『東富岡・杉戸遺跡 (No38)・東富岡・北三間遺跡 (No4)・上粕屋・川上遺跡 (No5・6)・上粕屋・三本松遺跡 (No7)・上粕屋・川上西遺跡 (No8) 第一東海自動車道 (東名高速道路) 厚木～大井松田間拡幅工事に伴う調査 8 伊勢原市内』かながわ考古学財団調査報告 34 (財)かながわ考古学財団
- 154 1998 高杉博章『神奈川県伊勢原市 咳止橋遺跡県道63号 (相模原大磯線) 道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査』伊勢原市Na128遺跡調査団
- 155 1998 伊東秀吉・碓井三子・長澤邦夫・相川薫・笹浪真理子・小林克利・守屋照代『神奈川県海老名市 望地遺跡一第4次調査一 国分尼寺北方遺跡一第12次調査一発掘報告書』望地遺跡発掘調査団/国分尼寺北方遺跡調査団/海老名市遺跡調査会
- 156 1998 村上吉正ほか『東向遺跡 (No33) 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告 5 中井町内』かながわ考古学財団調査報告 31 (財)かながわ考古学財団
- 157 1998 市川正史ほか『宮ヶ瀬遺跡群ⅩⅤ 北原 (No10・11北) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 41 (財)かながわ考古学財団
- 158 1998 恩田勇ほか『宮ヶ瀬遺跡群ⅩⅥ 久保ノ坂 (No4) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 42 (財)かながわ考古学財団
- 159 1998 吉田浩明ほか『寸嵐二号遺跡発掘調査報告書』相模湖町No6遺跡発掘調査団
- 160 1999 石井寛『小丸遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 25 (財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 161 1999 中山豊ほか『宿根南遺跡発掘調査報告書』宿根南遺跡発掘調査団
- 162 1999 伊丹徹ほか『長津田遺跡群Ⅴ 宮之前遺跡 長津田地区特定土地区画整理事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 58 (財)かながわ考古学財団
- 163 1999 野内秀明ほか『吉井城山神奈川県指定史跡「吉井貝塚を中心とした遺跡」史跡整備事業に伴う確認調査の記録』横須賀市埋蔵文化財調査報告書 第34集 横須賀市教育委員会

- 164 1999 後藤喜八郎『平塚市No86根岸B遺跡発掘調査報告書』平塚市No86根岸B遺跡発掘調査団
- 165 1999 中村哲也『藤沢市No322遺跡発掘調査報告書』藤沢市No322遺跡発掘調査団
- 166 1999 松田光太郎ほか『白久保遺跡 芹沢配水池建設にともなう発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 60 (財)かながわ考古学財団
- 167 1999 山本暉久ほか『池子遺跡群IX No1-A地点 池子米軍家族住宅建設にともなう調査』第二分冊 かながわ考古学財団調査報告 46 (財)かながわ考古学財団
- 168 1999 山本暉久ほか『池子遺跡群IX No1-A東地点・No1-A南地点 池子米軍家族住宅建設にともなう調査』第一分冊 かながわ考古学財団調査報告 45 (財)かながわ考古学財団
- 169 1999 境雅仁『相模原市No76遺跡』相模原市遺跡調査会調査報告 1 相模原市遺跡調査会
- 170 1999 林原利明ほか『神奈川県伊勢原市粕上原遺跡発掘調査報告書』粕上原土地区画整理事業区域内遺跡埋蔵文化財発掘調査団
- 171 1999 穴戸信悟ほか『上粕屋・上尾崎遺跡 (No10)・上粕屋・メ引北遺跡 (No11)・上粕屋・メ引西遺跡 (No12東) 第一東海自動車道 (東名高速道路) 厚木～大井松田間拡幅工事に伴う調査報告14 伊勢原市内』かながわ考古学財団調査報告 56 (財)かながわ考古学財団
- 172 1999 碓井三子ほか『海老名市望地遺跡-第6次調査-発掘調査報告書』望地遺跡発掘調査団
- 173 1999 南足柄市郷土資料館『南足柄の縄文時代-塚田遺跡を中心に-』郷土資料館調査報告書 第9集 南足柄市郷土資料館
- 174 1999 高杉博章『神奈川県中井町松本大久保台遺跡』松本大久保台遺跡調査団
- 175 1999 鈴木次郎ほか『宮ヶ瀬遺跡群XⅧ 馬場 (No6) 遺跡 (2)・北原 (No9) (3) 宮ヶ瀬ダム建設にともなう調査』かながわ考古学財団調査報告 51 (財)かながわ考古学財団
- 176 1999 吉田浩明ほか『神奈川県城山町川尻遺跡 (城山町No1 遺跡) 発掘調査報告書』城山町No1 遺跡発掘調査団
- 177 1999 北平朗久ほか『県営三ヶ木団地内遺跡発掘調査報告書』県営三ヶ木団地内遺跡発掘調査団
- 178 1999 平野裕久ほか『道志導水路関連遺跡 青根馬渡No1・2・3・4・5遺跡・青根引山遺跡 宮ヶ瀬ダム関連事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 59 (財)かながわ考古学財団
- 179 2000 坂上克弘ほか『大熊仲町遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告 26 (財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 180 2000 浜田晋介ほか『下原遺跡 縄文時代晩期、弥生時代後期、古墳時代前期の集落址の調査』川崎市市民ミュージアム
- 181 2000 高杉博章ほか『神奈川県平塚市上吉沢市場地区遺跡群発掘調査報告』平塚市※
- 182 2000 寺田兼方ほか『藤沢市No431遺跡』『藤沢市文化財調査報告書』第35集 藤沢市教育委員会
- 183 2000 霜出俊浩『秦野の文化財』第36集
- 184 2000 迫和幸ほか『神奈川県厚木市恩名沖原遺跡発掘調査報告書』恩名沖原遺跡発掘調査団
- 185 2000 穴戸信悟ほか『三ノ宮・下谷戸遺跡 (No14) Ⅱ 第一東海自動車道厚木・大井松田間拡幅工事に伴う調査報告 17 伊勢原市内』かながわ考古学財団調査報告 76 (財)かながわ考古学財団
- 186 2000 穴戸信悟ほか『坪ノ内・宮ノ前遺跡 (No16・17) 第一東海自動車道厚木・大井松田間拡幅工事に伴う調査報告 18 伊勢原市内』かながわ考古学財団調査報告 77 (財)かながわ考古学財団
- 187 2000 後藤喜八郎『伊勢原市No160遺跡発掘調査報告書 県道63号 (相模原大磯線) 道路改良工事に伴う事前調査』伊勢原市No160遺跡発掘調査団
- 188 2000 三瓶裕司ほか『半原屈中原遺跡 都市計画公園事業 あいかわ公園整備工事に伴う調査報告』かながわ考古学財団調査報告 95 (財)かながわ考古学財団
- 189 2000 加藤勝仁ほか『川尻遺跡Ⅱ 谷ヶ原浄水場内事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 69 (財)かながわ考古学財団
- 190 2000 山本暉久ほか『国指定史跡川尻石器時代遺跡範囲確認調査報告書』神奈川県教育委員会・城山町教育委員会・(財)かながわ考古学財団
- 191 2001 呉地英夫『神奈川県川崎市麻生区岡上-4遺跡第2地点発掘調査報告書』岡上-4遺跡発掘調査団
- 192 2001 浜田晋介ほか『下原遺跡Ⅱ』川崎市市民ミュージアム
- 193 2001 中村哲也ほか『神奈川県平塚市万田遺跡第6地点発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 194 2001 小林義典ほか『神奈川県小田原市御組長屋遺跡第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ地点発掘調査報告書』都市計画道路小田原早川線改良工事遺跡発掘調査団
- 195 2001 恩田勇ほか『田中・万代遺跡 伊勢原郵便局庁舎増築その他工事に伴う調査報告』かながわ考古学財団調査報告 103 (財)かながわ考古学財団
- 196 2001 新開基史ほか『半原向原遺跡・半原屈中原遺跡 都市計画公園事業 あいかわ公園整備工事に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 123 (財)かながわ考古学財団
- 197 2002 小川岳人ほか『南原遺跡 県営南原団地建設に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 129 (財)かながわ考古学財団
- 198 2002 中山豊ほか『横浜市保土ヶ谷区 南原遺跡発掘調査報告書』県営南原団地内遺跡発掘調査団
- 199 2002 松田光太郎ほか『稲荷山貝塚 根岸米軍 (11) 法面整備工事に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 131 (財)かながわ考古学財団
- 200 2002 長岡文紀『原口遺跡Ⅲ縄文時代 (第1分冊 本編1) 農業総合研究所建設に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 134 (財)かながわ考古学財団
- 201 2002 大野哲ほか『万田遺跡・構之内遺跡 平成11・12年度公共下水道建設に伴う発掘調査』平塚市埋蔵文化財シリーズ 37 平塚市
- 202 2002 栗原伸好ほか『用田鳥居前遺跡 県道22号 (横浜伊勢原) 線道路改良事業 (用田バイパス建設) に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 128 (財)かながわ考古学財団
- 203 2002 戸田哲也ほか『久野諏訪ノ原遺跡群Ⅰ久野一本松・久野天野藪・久野坂下窪遺跡-市道0036号線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査-』小田原文化財調査報告 第101集 小田原市教育委員会
- 204 2002 香村紘一『相ノ原八幡前遺跡』相模原市相原地区遺跡調査団
- 205 2002 大貫秀明『当麻亀ノ甲・西原遺跡』相模原市埋蔵文化財調査報告 26 相模原市教育委員会
- 206 2002 北原實徳ほか『神奈川県秦野市曾屋吹上遺跡-200102地点-』曾屋吹上遺跡発掘調査団
- 207 2003 今泉克巳ほか『神奈川県川崎市井田中原遺跡B地点』井田中原遺跡B地点発掘調査団
- 208 2003 河合英夫ほか『神奈川県平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書4 10・15D・19～23・27・30B・31・33 (A・D) 区』平塚都市計画事業真田・北金目特定土地区画整理事業に伴う調査報告 都市基盤整備公園
- 209 2003 若林勝司ほか『神奈川県平塚市 平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書3 6 (D～K)・8 (A～D)・13・14・15 (A～C)・25・28A区 第1分冊』平塚都市計画事業真田・北金目特定土地区画整理事業に伴う調査報告 都市基盤整備公園
- 210 2003 寺田兼方ほか『西富貝塚 (藤沢市No46遺跡)』『藤沢市文化財調査報告書』第38集 藤沢市教育委員会
- 211 2003 須田英一ほか『油壺遺跡-個人専用住宅新築工事に伴う発掘調査-』三浦市埋蔵文化財調査報告書 第11集 三浦市教育委員会
- 212 2004 天野賢一ほか『篠原大原遺跡 篠原団地 (先工区) 建て替え事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 175 (財)かながわ考古学財団
- 213 2004 阿部友寿ほか『桜山うつき野遺跡 県道311号 (鎌倉葉山線) 道路改良事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告163 (財)かながわ考古学財団
- 214 2004 小川岳人ほか『池端・椿山遺跡 緊急地方道路整備事業 (主要地方道路横浜・伊勢原線) に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 165 (財)かながわ考古学財団
- 215 2004 相原俊夫『神奈川県愛甲郡愛川町白ヶ谷遺跡発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 216 2005 松田光太郎ほか『風間北遺跡・風間遺跡 県道48号 (鍛冶谷相模原線) 緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告 178 (財)かながわ考古学財団